

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | ひまわり畑 | | 公表日 | | 2024年 12月 25日 | |
|----------|----|--|----|-----|--|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | 0 | 定員超過しないよう気をつけている。 十分な広さが確保されている。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | 0 | 適切な人数を配置している。 | 職員の専門知識を向上させる。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | 0 | おもちゃ、カードゲーム類、本、各自の荷物の置き場所を明確に分けている。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 9 | 0 | 換気、清掃を心がけている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 2 | 机を分割できるので、自分の場所を確保しやすい。パーテーションで区切って、着替えや静養に使える空間がある。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | 1 | 毎月ミーティングを行い、参画している。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | ミーティングの議題として取り上げ、保護者等の意向を把握、業務改善につなげている。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | 0 | 毎月のミーティングや、日々の業務の中で意見を出し合い、業務改善につなげている。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 7 | 行っていない。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 3 | 毎月のミーティングで指導方法を検討。 ビデオ研修を行っている。 | 研修費用の事業所負担、研修は勤務とするなど、費用面で外部の研修に参加しやすいようにする。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 2 | 出来ている。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 2 | フォーマルなツールを扱えるものがない。 インフォーマルのみ使用。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 0 | 制作、外出先、遊びなど、相談して決めている。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | 0 | 季節の行事を取り入れたり、外部の講師を招いたり工夫している。 | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | 1 | 気付いた点はLINE等を活用し共有するよう心掛けている。 | 直帰してもらう場合が多いので後日になることもある。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 6 | 3 | 出来ている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 0 | あまり機会はないがこども部会等で情報共有している。 | 地域の障害福祉事業所とは連携するよう心掛けているがまだまだ不十分。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | 0 | HPで確認することが多い。あまり機会はないが行事予定等はこども部会等でも情報共有している。送迎に遅れる場合は学校に連絡している。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 2 | 5 | 出来ていない。 | 今後の課題。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 2 | 5 | 出来ていない。 | 今後の課題。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5 | 0 | 連携を取るよう努めている。 | 研修、スーパーバイズ、助言等は受けていないので、今後の課題とする。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 6 | 本部書道教室に参加している。 | 保護者が必ずしも交流を望んでいるわけではない。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 7 | 0 | 出来ている。 | 特定の人の参加となっているので、可能ならば他の人も参加できるとよい。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | 0 | 連絡帳またはLINE、面談時に情報共有している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 7 | 0 | 連絡帳またはLINE、面談時に情報提供している。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | 0 | 出来ている。改訂の度に内容説明の紙面を発行し、周知している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | 0 | 十分な時間をかけて面談を行っている。 | こどもの利益を最優先しているが、本人の意向を最優先にすることは難しい。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 0 | 仕事をしている保護者が多く、開催しても参加者が少ない。 | 仕事をしている保護者が多く、開催しても参加者が少ない。きょうだい支援は休日開催になるため、職員の負担が大きい。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | 0 | 重要事項説明書に窓口明記。LINEや連絡帳で適宜。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 0 | ひまわりだより、facebook | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------------|---|
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | 9 | 出来ていない。 | どの団体に声をかけるのが良いかが分からない。招待できるようなイベントがない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 3 | 年間通してミーティング時に計画的に行うようにしている。 | 訓練の数が多し。訓練に子どもを参加させるのが難しい。大きな組織ではないので発災時に活動できる人は限られている。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 0 | BCPを策定した。 | 訓練の数が多し。訓練に子どもを参加させるのが難しい。大きな組織ではないので発災時に活動できる人は限られている。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | 0 | 出来ている。毎年、服薬状況を確認するアンケートを出している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 3 | 毎年、アレルギーを確認するアンケートを出している。 | 保護者をお願いしているが、医師の指示書が提出されたことはない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 5 | 2 | 不十分。 | 安全計画の見直しを図る。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 5 | 2 | 不十分。 | 安全計画の見直しを図る。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | 0 | 出来ている。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 2 | 今は対象者がいない | |